

協働提案事業の決定について

👉 令和8年度に実施予定の協働事業提案の応募が1事業あり、中央区協働推進会議による公開プレゼンテーション及び審査の結果、当該事業が採択されたため、協働事業として決定する。

協働提案事業の決定(令和8年度実施事業分)

(1)事業名及び事業概要等

※詳細については、別紙のとおり

事業名	教育版マイクラフトを活用した子どもの意見表明ワークショップ事業
団体名	一般社団法人 Nボノ
事業内容	子ども達が「子どもの権利」や地域の課題を理解し、自らの意見やアイデアを表現・発表する機会を創出するため、「教育版マイクラフト」を活用したワークショップを開催する。全4回のプログラムを通じて、子どもの意見表明の機会や環境を創出するとともに、子ども施策への反映に繋げる。

(2)中央区協働推進会議委員構成

職名	委員名	役職等	参 考
会長	瀧澤 利行	茨城大学教育学部副学部長	年度別採択事業及び実施団体（直近3年間） 令和4年度 提案事業無し 令和5年度 採択事業：女性リーダー養成事業 実施団体：流山防災まちづくりプロジェクト 採択事業：減酒による飲酒自制セミナー事業 実施団体：特定非営利活動法人東京断酒新生会 令和6年度 提案事業無し
副会長	後藤 麻理子	(認定特活) 日本ボランティア・ディレクター協会事務局長	
委員	仲本 美央	白梅学園大学子ども学部子ども学科教授	
委員	関口 利子	日本橋防火防災女性の会顧問	
委員	山本 順一	東京商工会議所中央支部事務局長	
委員	黒川 眞	中央区社会福祉協議会事務局長	
委員	杉原 志保	協働ステーション中央センター長	
委員	生島 憲	企画部長	
委員	濱田 徹	区民部長	

協働事業提案（採択事業）一覧

No.	事業名 団体名（担当部課）	事業提案の概要
1	<p>教育版マイクラフトを活用した子どもの意見表明ワークショップ事業</p> <p>一般社団法人 N ボノ</p> <p>所在地：神奈川県川崎市</p> <p>R5.7.18 設立</p> <p>（子ども子育て支援課）</p>	<p>1 事業費：1,230千円</p> <p>2 対象：区内在住・在学の小学校4年生～6年生、中学生、高校生、30名程度（選考予定）</p> <p>3 実施内容</p> <p>子ども達が「子どもの権利」や地域の課題を理解し、自らの意見やアイデアを表現・発表する機会を創出するため、「教育版マイクラフト」を活用したワークショップを開催する。全4回のプログラムを通じて、子どもの意見表明の機会や環境を創出するとともに、子ども施策への反映に繋げる。</p> <p>※協働推進会議での採択理由</p> <p>本事業ではものづくりゲームの一種であるマイクラフトをプログラミング教育等の教材として使えるようにした教育向けエディション「教育版マイクラフト」を活用し、子どもや若者が「遊び」や「創造」の過程を通じて、自身の意見や思考を表現し、地域や行政に主体的に提案する機会を創出し、国連等でも提唱されている「子どもの意見表明権」の実体化や子どもの地域社会参加の契機を提供することを目的としている。方法としては、子ども施策への意見表明ワークショップを実施し、マイクラフトを通じて社会へのアイデアを創造し、これを発表することを通じて、子どもたちが主体的に地域社会や行政に参加できる環境を整備することによる。</p> <p>提案団体は、高度な技能・知識および職能経験を有するプロボノワーカーと社会課題の解決のための共創活動を行いながら、プロボノワーカーが種々のチャレンジができる場の提供を目的として教育・研修、ITサポート支援、イベント企画・運営、研究事業等を行っている団体であり、他地域で先行して一定の成果を収めている。</p> <p>本団体が提案する事業内容との協働を通じて、マイクラフトを活用したプログラミング教育領域において一定のスキルを獲得することを支援することにより、区内でさまざまな場で子どもの意見表明の機会や環境をプロモートすることができ、子どもの意見を数多く創出して、区政等に反映させることが期待される。</p> <p>「中央区こども計画」において「中央区らしい、子どもまんなかまちづくり」を進めるため、常に子どもや若者等の視点に立ち、子どもたちの考える意見や課題を引き出しながら、子ども施策を実施していくことを期している本区において、本提案団体との協働事業の着手・推進は、区政の実現において有益な効果をもたらすものと判断される。本事業を採択するに値するものと判断する。</p>